



平成26年5月22日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下史朗
(コード番号 4047 東証第1部)
問合せ先 人事総務部専任部長 徳升聡司
(TEL. 03 - 3257 - 0371)


平成26年3月期 決算説明会資料

当社では、本日5月22日、機関投資家・証券アナリスト向けに平成26年3月期 決算説明会を開催いたします。

平成26年3月期 決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

平成26年3月期 決算説明会

 関東電化工業株式会社
平成26年5月22日

1

説明内容

1. H26/3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学 品事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学 品事業	フッ素系 製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンガステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、五フッ化ヨウ素、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、六フッ化リン酸リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化工業株式会社

3

関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

	資本金	出資 比率%	H26/3末 個別売上高	対前期 増減	主要な事業内容
関電興産(株)	10	100.0	5,109	△530	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店
(株)上備製作所	120	49.4	4,281	1,412	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業(株)	27	52.9	997	61	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA (株)	2 億ウオン	90.0	5,688	173	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份 有限公司	7 百万NTドル	100.0	2,597	821	フッ素系製品の販売

合計	18,674	1,939
----	--------	-------

関東電化工業株式会社

4

連結・個別損益の概要

(単位:億円)

連結決算					個別決算			
	H25/3 (倍率)	H26/3 (倍率)	増減	増減率 (%)	H25/3	H26/3	増減	増減率 (%)
売上高	343 (1.14)	365 (1.20)	21	6.3	302	305	2	0.9
営業利益	△4 (-)	15 (1.53)	19	-	△7	9	17	-
経常利益	△3 (-)	17 (1.48)	20	-	△5	11	17	-
当期純利益	△85 (-)	11 (1.03)	97	-	△86	11	97	-

関東電化工業株式会社

5

連結決算のポイント

(単位:億円)

	H25/3	H26/3	差額
売上高	343	365	21
営業利益	△4	15	19
当期純利益	△85	11	97

(1) 売上高増加(+21億円)

- ・基礎化学品事業部門は、販売数量の減少により減収(△2億円)
- ・精密化学品事業部門は、販売数量の増加により増収(+5億円)
- ・鉄系・商事・設備事業部門は増収(+19億円)

(2) 営業利益改善(+19億円)

- ・売上高の増加や費用の削減により改善
基礎化学品事業(△2億円)、精密化学品事業(+18億円)
鉄系事業(+1億円)、商事事業(+0億円)、設備事業(+1億円)

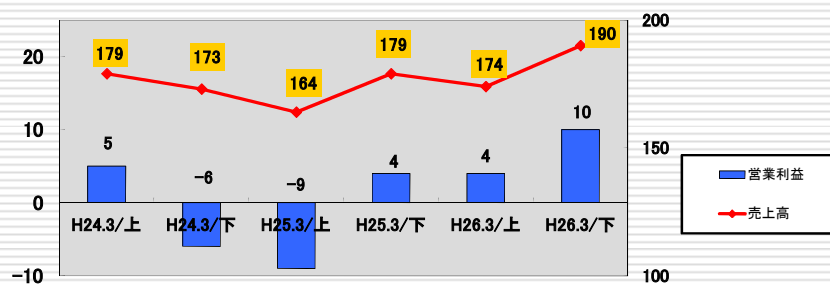
(3) 当期純利益改善(+97億円)

- ・前期は特別損失(△56億円)の計上と繰延税金資産の取崩し(△25億円)

過去3年間の半期業績の推移

(単位:億円)

	H24年3月期		H25年3月期		H26年3月期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	179	173	164	179	174	190
営業利益	5	△6	△9	4	4	10



関東電化工業株式会社

7

基礎化学品事業部門

(単位:億円)

	H25/3	H26/3	差額
売上高	70	67	△2
営業利益	△0	△3	△2

・売上高は、塩酸の販売数量の増加があったものの、か性ソーダやトリクロールエチレン等塩素系有機製品の販売数量の減少により、前期に比べ減収となった。

・営業利益は、販売数量の減少や原燃料価格の上昇等により、前期に比べ営業損失の拡大となった。

関東電化工業株式会社

8

精密化学品事業部門

(単位:億円)

	H25/3	H26/3	差額
売上高	210	215	5
営業利益	△6	11	18

- ・三フッ化窒素および六フッ化タングステンは、販売価格は低下したものの販売数量の増加により、前期に比べ増収となった。
- ・電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、売上高の増加と費用の削減効果による、前期の赤字から黒字となった。

関東電化工業株式会社

9

鉄系・商事・設備事業部門

(単位:億円)

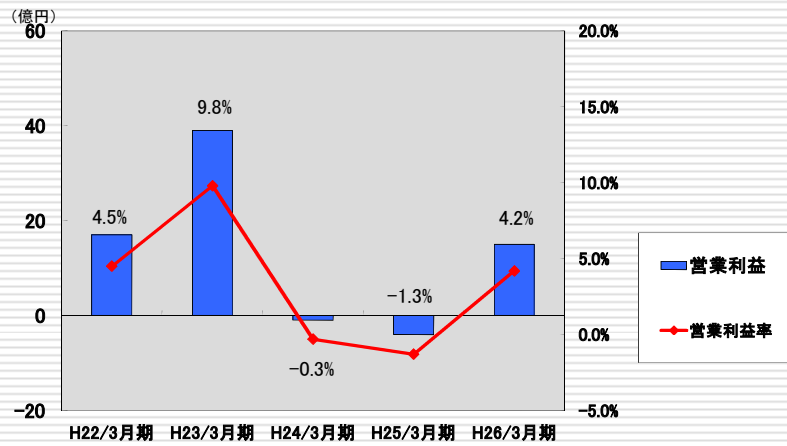
	H25/3	H26/3	差額
売上高	62	81	19
営業利益	3	6	3

- ・鉄系事業は、キャリアーの販売数量の増加により、前期に比べ増収増益となった。
- ・商事事業は、連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売が増加により、前期に比べ増収増益となった。
- ・設備事業は、連結子会社である上備製作所における請負工事の増加により、前期に比べ増収増益となった。

関東電化工業株式会社

10

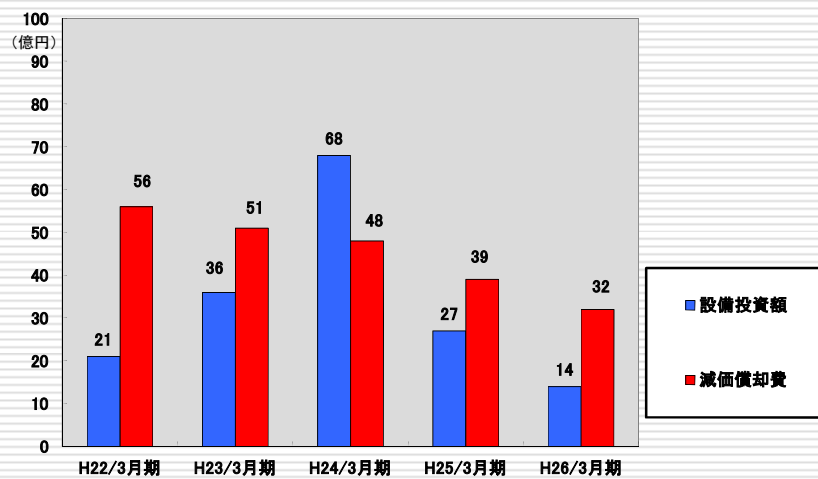
営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

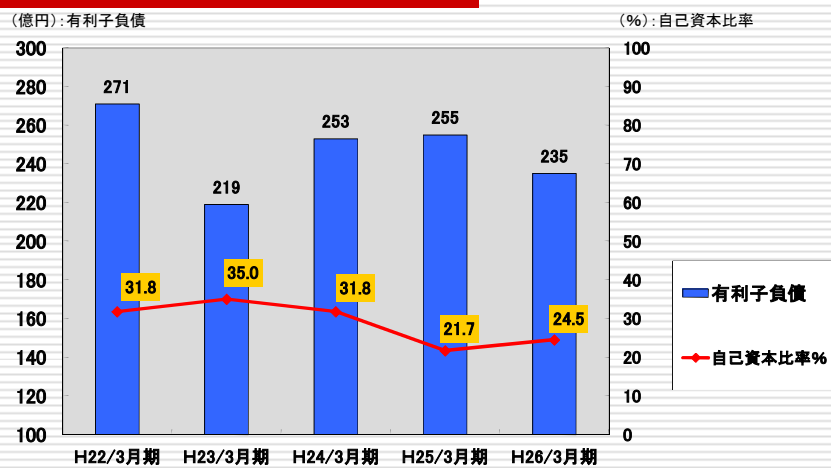
設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

12

有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



(注)H25/3月期以降はリース債務を含む

説明内容

1. H26/3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

セグメント別業績予想(連結)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	H26/3	H27/3	差額	H26/3	H27/3	差額
基礎	67	69	1	△3	1	4
精密	215	225	9	11	11	△0
その他※	81	72	△9	6	4	△2
合計	365	366	0	15	16	0

設備投資	14	14	0
減価償却	32	26	△6
研究開発費	8	9	0

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

※為替レート見込:95円/\$

関東電化工業株式会社

15

セグメント別業績予想(連結) 上期下期比較

(単位:億円)

	H27/3売上高			H27/3営業利益		
	上期見込	下期見込	差額	上期見込	下期見込	差額
基礎	32	37	5	△1	2	3
精密	108	117	9	3	8	5
その他※	35	37	2	2	2	0
合計	175	191	16	4	12	8

設備投資	7	7	0
減価償却	13	13	0
研究開発費	4	5	0

※その他は、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

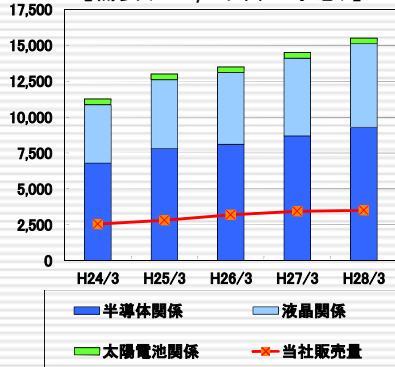
関東電化工業株式会社

16

ー主な製品の見通しー 三フッ化窒素(NF3)

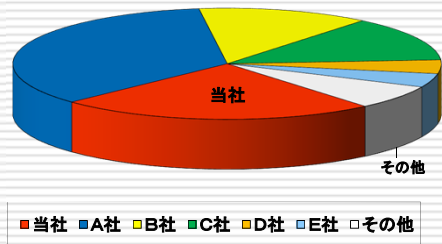
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 製造能力 3,500t/年

t 【需要(H27/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約4分の1



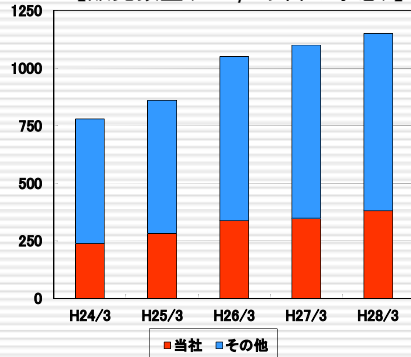
関東電化工業株式会社

17

ー主な製品の見通しー 六フッ化タンゲステン(WF6)

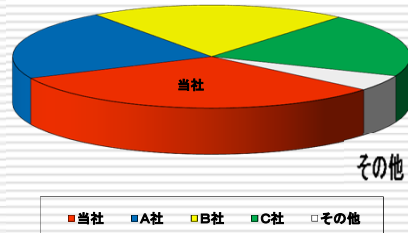
- 半導体用配線材料ガス。
- 製造能力は300t/年。

t 【販売数量(H27/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約3割



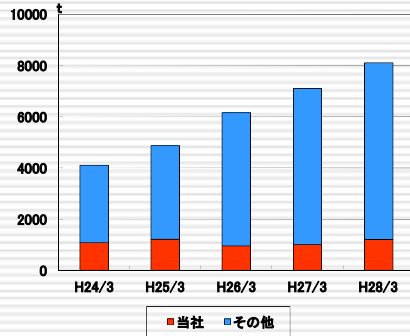
関東電化工業株式会社

18

ー主な製品の見通しー六フッ化リン酸リチウム (LiPF₆)

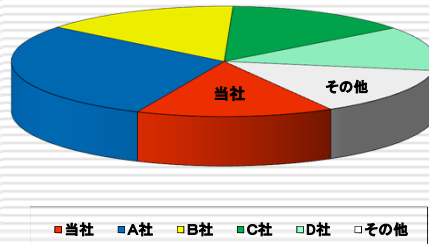
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- 今後、EV等の車載向けや大型蓄電池向けの需要が期待される。
- H24年度に製造能力を2,400t/年とした。

【販売数量 (H27/3以降は予想)】



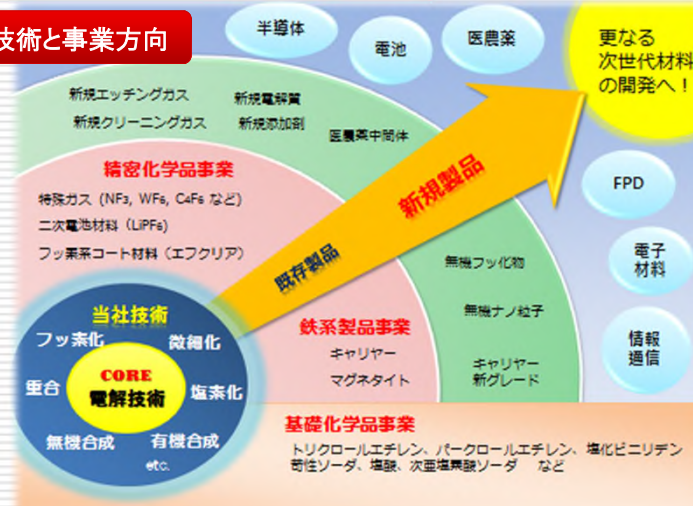
【現在のシェア予想】

当社シェアは2割弱



当社の目指す事業方向

当社技術と事業方向



フッ素化技術を利用した製品の開発①

当社コア技術
F2電解



・世界有数の規模と高品質のF2

F2電解技術を極め、次世代製品の開発促進

F2を利用した既存製品

特殊ガス

・NF3 ・C4F6
・SF6 ・C4F8
・WF6 etc.
・CF4
・ClF3

電池材料
・LiPF6

その他
・IF5

次世代製品

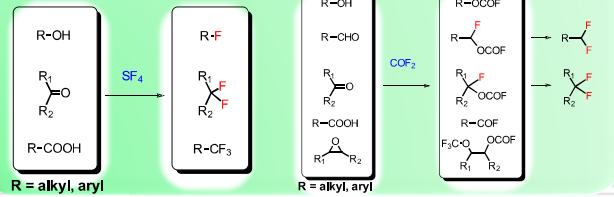
エネルギー関連
電子材料関連
ライフサイエンス関連

関東電化工業株式会社

21

フッ素化技術を利用した製品の開発②

フッ素化反応例



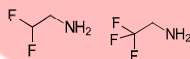
フッ素化技術を中心に、蓄積されたハロゲン化技術に基く受託合成などを承っています。

特徴

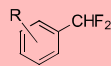
F2による直接フッ素化反応、SF4などの特殊フッ素化試薬を用いた反応などにも対応

含フッ素有機化合物
開発品例

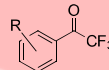
フルオロエチルアミン類



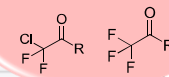
ジフルオロメチルベンゼン類



トリフルオロアセトフェノン類



ハロゲン化アセチル類



関東電化工業株式会社

22

新規製品の開発（無機ナノ粒子）

無機ナノ粒子開発品リスト

無機ナノ粒子	化学式	粒子径 (nm)	比表面積* (m ² /g)	粒子形状
チタン酸バリウム	BaTiO ₃	25, 50	40, 20	球状
ジルコニア	ZrO ₂	10	150	球状
γ-アルミナ	γ-Al ₂ O ₃	50, 80	115, 105	板状
ペーマイト	AlOOH	50, 80	95, 50	板状
酸化マグネシウム	MgO	35, 80	45, 20	立方体, 球状
水酸化マグネシウム	Mg(OH) ₂	80	30	板状
酸化亜鉛	ZnO	15	35	球状
酸化チタン	TiO ₂	10	150	球状

比表面積*: 代表値

当社無機ナノ粒子の主な特徴

- ・均一性の高い粒子形状
- ・シャープな粒度分布
- ・高結晶性、高分散性

粒体サンプルに加え、分散液サンプルにも対応

ナノ粒子粒体



ナノ粒子分散液



関東電化工業株式会社

23

高付加価値製品の開発

- 医農薬中間体、電子材料
- 新規無機材料(無機ナノ粒子)
- 半導体用次世代先端ガス
- 新規電池材料(添加剤、イオン液体)
- 10年後を見据えたコア技術の開発。

創造的開発型企业へ

24

注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。